

報告第二三八號

日鐵二瀬鐵業所中央礦勞務係員暴行事件

對一日本石炭坑夫組合、西部鐵山勞働組合

發生 昭和九年六月 五日

解決 同 六月十四日

一、概要

日鐵二瀬鐵業所中央礦勞務係員暴行事件

日鐵二瀬鐵業所中央礦に於ては「ダイナマイト」代坑夫負擔制實施に伴ひ賃金問題に關する紛議發生したるも一兩日にして解決したるが、豫ねて機會を窺つてゐた日本石炭坑夫組合並に西部鐵山勞働組合では勢力扶殖の爲夫々従業員に對して策動するところあり、偶々アジビラ撤布の際構内警備の炭坑勞務係員と衝突暴行を加へられ傷害事件を生じたので、勞働組合側就中總同盟日本石炭坑夫組合に在りて此の機會に瀕發する暴力行爲を銃撃炭田より根絶せしむべしとの叫びを擧げ一時其の成行は頗る注目せられるところであつたが大事に至らず次の經過を辿つて解決したのである。